

2003/9/01 ソウルの旅

一日目

今回のソウルは今年の夏とまったく同じメンバーで、次女とあけみさん、俺の三人。一昨年は長男ファミリーと、我が家五名の「大中島ファミリー」で来ているから、三年連続のソウルってことになる。こんなに何度も訪れるのは私の韓国料理好きとバザール好きのせいかな？ 今回の主目的は、第一位 韓国料理を食べること、第二位 買い物（皮のジャケット）。このジャケットは、去年も探していて、中々気に入った物が見つけれず、2年越しの買い物になる。

ホテルにチェックインは3時ちょっと過ぎ。今回のホテルは、ソウル一番の繁華街「明洞」(ミョンドン)から地下鉄で一駅の忠武路(チュンム口)近くの、豊田(ブンジョン)ホテル。このホテルは、日本観光客ご用達のホテルなので、日本人だらけでスタッフも日本語 OK。さっそく、部屋で荷物を整理してすぐに行動。まずは軽い食事をと、さっき荷物を部屋に運んでくれたボーイさんに、彼らがこの近くでよく利用するお店を教えてもらう。韓国語オンリーだからと、親切に地図といっしょに食べたい品をハングルで書いてくれた。カムサハムニダ。

辛いスープのラーメンとキンパブ(酢の入ってない巻き鮓？巻きおにぎり？) ビビンバの三品で軽く？お腹をみたして、「いざ！」明洞へ。

ミョンドンの地下鉄駅を出ると、そこから始まる道路が遊歩道になっていて、商店街の通路に二列の屋台商店が五百メートルくらい並んでいる。その並んでいる店のほとんどが、「にせもの屋」さん。有名ブランド印の雑貨やアクセサリーが、山ずみされている。この国は、国際問題にならないのかちょっと心配。

ちょっぴりうれしい気分でブラブラ見て廻っていると、娘のさなえが、ここ面白いからちょっと待ってと言うので、一緒に覗いてみる。そこは、スニーカー用の短靴屋さん。ブランドのロゴマークの靴下を、一足 1000 ウォン(100 円)で売っている。さなえは、会社のチーム 20 人に、この靴下と韓国のりをセットでおみやげにすれば、3000 円位の予算で買えちゃうと大喜び。納得。さすが我が娘、買い物上手。おまけに「まとめ買いだからまけて！」と、2足おまけを付けてもらっている。

もうちょっと先に進んで、今度はアクセサリ屋さん。あけみさんと二人で、本当に楽しそうに買い物している。次々と見て廻り気がつくとお荷物係りの俺の両手は一杯。時間も8時。そろそろホテルに帰って、晩ご飯にしましょう。

一昨年前に、長男ファミリーと来た時もこのホテルに泊り、ホテルの横丁をちょっと入った所の父娘二人で経営している、小さな焼肉屋さんで大いに盛り上がった事を思い出して、再訪してみたが、残念な事に、全く見知らぬ人に代わっていた。ホテルの方へ戻りかけると、四軒程はなれた焼肉屋のおじさんと出会う。彼の店も店じまいしている所だったけれど、食べさせてくれる？と聞くとOK。さっそく、焼肉の準備に入ってもらおう。何しろおじさんもお手伝いのおばさんも、日本語が全く話せない。韓国語会話集片手に四苦八苦。

まずは、冷蔵ケースを覗いて適当なものを頼んで、とりあえず、ビールでお疲れさん。カンパーイ！

さなえは焼酎派なので、ジンロとウーロン茶をもらったけれど、「氷」が通じない。得意の絵を書いてOK。焼肉も来て、一本目のジンロも空に。二本目をもらい、「ちげ(なべ)」を二つと、この店の一番お勧め料理らしい、「いかのプルコギ」をもらう。お手伝いのおばさんがとても楽しい人で、韓国の流行歌を、次々と一人カラオケしてくれる。おじさんの奥さんも店を閉めに来たが、店の中があまり盛り上がってしまっているのので、一緒に輪の中に入って来て、みんなで盛り上がる。しかし後で思うには、ほとんど分からない同士が何語を話して盛り上がったのだろうか？

12時を回りそうなので、おばちゃんの「ツモローカラオケ！」のお誘いの叫びを背においとまする。

チャルモゴッスミダ ケサネ ジュセヨ アンニョンヒケセヨ！

二日目

今日は朝からかなりの雨もよう。傘を用意していなかったのも、とりあえずタクシーでロッテデパート近くの地下商街へ向かう。

200円の折りたたみ傘を手にいれて、行動開始！ロッテデパートに入って、まずは朝飯。ロッテリアに向かおうと歩いていると、「サブウェイ」のような美味しそうな手作りサンドウィッチ屋さん見つけて、即ここに決定。薄きりロースハムとレタスがぎっしり入ったものを二つと、新しい物好きの俺は、カルビサンド。これはカルビとレタスがたっぷり入ったサンド。それとコーヒーと紅茶で、結構重い朝食になってしまった。

さあ、ロッテの免税店であけみさんと娘たちのバックを買ったらこの旅のメインテーマのジャケット探し南大門市場（ナンデムンシジャン）へ Let's go ！

南大門に着いた頃には、雨も小ぶりになっていて、そろそろ上がりそうな気配だが、ジャケット屋さんへ行ける気配がしない。お供の二人連れのショッピングに振り回されて、先に進まないのだ。そうこうする内にお昼時。そんな時、せまい路地から、たくさんのサラリーマン風の人たちが爪楊枝くわえて出てくるのが見えた。これは路地の奥にきっと人気の食べ物屋さんがあるはず・・・と、俺の嗅覚がさわく。行きましょう！即決定！

当たりです。お客さんで一杯の韓国料理屋さんを発見。もち、入りましょう。食べましょう。

アンニョンハセヨ！と、元気に飛び込む。日本語の分かる人は、一人もいない。ラッキーなことに、写真入りメニューと、食事の人達がたくさんいる。「大丈夫、まかせなさい」と、まずはメクチュ！と、指一本。銘柄は何がいいか、と聞いていると思う（多分？）。

ハングォメクチュ！ビールが出てきた。やれやれ。周りを観察させてもらおうと、鍋の中に麺を入れた、赤い色の味噌煮込みのような物を食べている人が多い。これだね。全員一致でこれにする。韓国餃子も一人前もらう。このうどん鍋がうまい！みんなが注文しているわけだと、三人で納得。

チャルモゴッスミダ！さあ、今度こそジャケット屋へ。それでも脱線気味にウロウロ。

バッグ屋さんに尋ねると、携帯電話でジャケット屋さんに連絡を取ってくれたので、ジャ

ケット屋のお兄さんが迎にきてくれた。「ジェリー・ウエバー」と言う、コジンマリしたお店で迎に来てくれた。そのお兄さんが、一人で経営しているみたい。日本には何度も行って、日本語はかなりの達人。

これは値段交渉がしやすい。欲しい物の形は大体決めてあるので、サイズと皮質と色を選ぶ。黒、濃茶、キャメルの中から、キャメルのジャケットに決める。値交渉で予算よりかなり安く買えたので、皮のパンツも買ってしまった。お兄ちゃんがバイク好きで、ジャケットの袖丈とパンツの丈を直してもらっている間に、走り屋さん自慢やら、男のアクセサリーの話やらで盛り上がっていると、出来上がってきました。全部着込んで、ハイ、ポーズ！あけみさんも娘も GOOD！サア、一件落着。雨も上がった事だし、どこにでもお供しますよ。ルンルン

南大門市場の、迷路のようなショッピングビルに入り込み、家に飾る雑貨やらおみやげあさりに大奮闘。手荷物はもう両手に一杯ですヨ。今日はこれぐらいで、ゴカンベン。

ひとまず、ホテルに荷物を置きに帰り一休み。晩ご飯を食べに、ソウルの一番のスポット「アックジョン」へ向かう。ミョンドンが原宿なら、ここは六本木かな？ちょっとおしゃれな感じのお店が多い。

一本裏通りに入ってみる。なかなか個性的な飲食店やお店が軒を並べている。その内の一軒が、外から見ると、若者のお客でかなり込んでいるので入ってみる。今風の店造りだけど、内容はおしゃれな焼肉屋さんです。25000 ウォン（2500円）の盛り合わせ二人前セットを注文して、ジンロ1本と、あけみさんには生ビール。とりあえず「カンパーイ」

うまいっ！さんざん歩いた後だけに、とにかくうまいっ！韓国式では、メインの肉の盛り合わせ以外に付いてくるキムチ、ナムル、佃煮、シシャ葉、ごまの葉等15種類は、お代りしても無料なので、シシャ葉やごまの葉に4種類のキムチ、5種類のナムルを包み込んで、コチジャンをつけてバンバン食べまくり。ジンロも、30分経たない内に2本目突入。小1時間でもう満腹。「チャルモ、ゴッサミダ ケサネ、ジョセヨ」

さ～、帰ってねましょ。明日は夕方の便で帰るから、午前中にでも、去年の旅行でちょっと知り合った指輪屋のお兄ちゃんの店でも覗いてみようかな？

三日目

さてラストの三日目。もう最後の日になってしまいました。夕方6時30分のフライトだけれど、ホテルへのお迎えは、かなり早めのPM2時らしい。残りの時間もあまりないので、朝早めから行動開始。9時にホテルをチェックアウトして、荷物をキープ。リュックとキャリーを持って、今日の一番の仕事は、おみやげの食品買い。初めて来た時、早めに買い込んで、帰国した時に醗酵が進み過ぎて酸っぱくなった失敗経験があるので。食料品専門の新堂市場がととてもリーズナブルで、品数もとても多くて好きなのですが、防臭包装の面で完璧な、ロッテ百貨店食品売り場に決定（あけみさんと娘に押し切られて）！

まずは腹ごしらえから。ロッテリアで朝食セットを食べて、食品売り場へ。唐辛子2kg、キムチパック20個、チャンジャ5種類、韓国ノリ20セット、さらに、コチジャン5パック、佃煮、明太子、その他、総量20数kg。まるで終戦直後の買出し（誰も知らないか）状態。

結構時間を使ってしまい、この品を全てホテルのスーツケースに詰め直すと、もう梨泰院の指輪屋さんに行くのには、ちょっと時間がたりないので、お昼ご飯をゆっくり食べて、ホテルに戻る。

今回の旅行も、「食う」「買う」ざんまいで終了。